

平成22年度 中央大学学術研究奨励賞

商学部教授 大淵 博義
著書『法人税法解釈の検証と実践的展開』
▶第19回租税資料館賞 2010年11月19日 公益財団法人租税資料館
上記著書は、最近の訴訟事件を題材に、法人税法における主要な問題点に焦点をあて、その解釈のあり方を論じたものであり、著者の豊富な実務経験と幅広い知識に基づき、憲法上の租税法主義の遵守を基本的な立場として、明快でわかりやすく、一貫性のある論述を展開した力作である。このたび、税法学分野の研究業績として高く評価され、この分野では学会受賞に相当する租税資料館賞を受賞した。
理工学部教授 村瀬 和典
流動床における凝集体形成に重要な液架橋力の解析を、現実の系に应用できる3粒子系で行い、静的液架橋力および動的液架橋力に関わる因子を明らかにした。
▶APT Distinguished Paper Award 2009年12月19日 粉体工学会
村瀬教授を筆頭とし、学生3名との共著の原著論文を粉体工学会の欧文誌 Advanced Powder Technology に発表し、学術的価値ばかりでなく実用的価値も認められ、論文賞 (APT Distinguished Paper Award) を受けた。このことは中央大学における研究水準の高さを証明するものであり、大学の評価を高めたと言える。
理工学部助教 杉本 真優 理工学部教授 金澤 健二
表面強化処理鋼の長寿命疲労領域における内部破壊の現象を解明し、内部疲労破壊防止に対する方向性を示した。
▶日本ばね学会論文賞 2010年11月5日 日本ばね学会
候補者はショットピーニングを施したばね鋼の疲労特性について、詳細な観察を通して疲労き裂の発生箇所を特定し、内部破壊に対する不完全焼入れ組織の影響を明らかにした。そして、すでに多くの研究がなされている非金属介在物を起点とする内部破壊との類似点や相違点を明らかにしてきた。このような知見は機器の安全性・信頼性向上につながるもので、さらなる研究の発展が期待される。
理工学部准教授 中村 太郎
ミミズの移動手法を規範とした蠕動運動型移動機構の開発とその応用の研究により日本機械学会から奨励賞を受賞した。
▶日本機械学会奨励賞 2010年4月23日 社団法人日本機械学会
候補者が受賞した日本機械学会奨励賞は、機械工学または広く産業社会に関わる主として研究上の業績において特に優れていた、35歳以下の新進気鋭の若手に授与される名誉ある賞である。候補者は、ミミズの移動手法を規範とした蠕動運動型移動機構の開発とその応用に関する研究が、独創性、新規性、発展性、産業社会への貢献度において、特に優秀であると認められ本受賞に至った。本候補者の研究業績は、世界をリードする日本のロボット界において高い評価を得ている。
理工学部助教 今村 壮輔
光合成微生物において、ゲノム情報を基盤にした独自の手法を用いた研究を展開し、転写因子の機能について、新規の概念・知見を数多く解明した。

▶研究奨励賞 2010年3月8日 日本ゲノム微生物学会
光合成研究は、光エネルギーの効率的利用や脱化石エネルギー、食糧問題などの解決手段としてその基礎研究の進展が期待されている。陸上植物が行う光合成を理解する上で、多様な光合成微生物の代謝過程を詳細に明らかにすることは非常に重要である。今村壮輔氏は、その独創性や研究への真摯な姿勢、豊富な実験量によって、この研究分野で新規な概念・知見を数多く見出し、国際的に高く評価されている。なかでも、1) 植物に特異的に見出される代謝機能の解析を進め、教科書的な概念を覆すユニークな知見を世界に発信した事 (EMBO J, 2008)、2) 植物における窒素代謝を制御する転写因子の同定と機能解析に世界で初めて成功した事 (PNAS, 2009) は高く評価されている。これらの成果に基づき、今村氏は、ゲノム情報を基盤にした微生物の普遍性と多様性に関する基礎的研究について優れた研究を活発に行い、将来の成果が期待される若手研究者 (40歳未満) に贈られる、日本ゲノム微生物学会研究奨励賞を受賞するにいたった。このことは、今村氏の傑出した研究能力と将来性を示すものであり、新設間もない本学理工学部生命科学科にとっても広く顕彰されることを荣誉とするものである。
理工学部助教 神山 直之
1973年に Jack Edmonds によって証明された有向木の詰め込みに関する定理の一般化
▶日本 OR 学会文献賞 2010年3月4日 日本 OR 学会
1973年に Jack Edmonds によって証明された有向木の詰め込みに関する定理はグラフ理論における最も有名な定理の一つであり、理論的にも応用的にも非常に重要な定理である。この定理の真の拡張は非常に困難であるという予想に反して、候補者の論文は拡張に成功し、分野にブレイクスルーをもたらし、日本OR学会より権威のある文献賞を受賞している。
理工学部助教 新妻 実保子
電動車イスのロボット化において、人から車イスへの簡便な指示入力、及び車イスから人への新しいコミュニケーション手法について提案した。
▶Best Paper Award 2010年11月10日 2010 International Symposium on Micro-NanoMechatronics and Human Science
本論文は、電動車イスと人とのインタラクションについて扱い、人に連続的な指示入力を求めない簡便な入力方法を提案し、ロボットナビゲーション技術との統合により、柔軟な目的地の指示と移動を実現した点に特徴がある。加えて、自律移動機能を持つ車イスの動作を技術的知識のない搭乗者でも直感的に解釈可能にするためのコミュニケーション手法を提案し、特に振動触角刺激を用いた新しいインタフェースが高く評価できる。
国際会計研究科准教授 石島 博
パーソナルファイナンスに関する独創的で優れた研究『個性性と歪みを考慮した住宅価格分析とパーソナルファイナンスへの応用』を行った。
▶第5回日本FP学会賞最優秀論文賞 2010年9月4日 日本FP学会
日本FP学会は、2000年3月にパーソナルファイナンスの研究、教育・普及を目的に設立された学会である (会長は、中央大学でも教鞭を執られた貝塚啓明氏)。同学会賞は、2005年に若手研究者助成と研究振興の目的で設置され、本年度は第5回となる。最優秀論文賞を最高に優秀論文賞、奨励賞などが設けられているが、過去4回においては最優秀論文賞は「該当なし」とされており、今回が初の同賞の授与となる。実務への応用が期待される分野であり、本学教員の研究水準の高さを広く世間に知らしめた。

第24回 渋谷健一奨励賞

本賞は、渋谷健一先生（元本学理事長）の本学創立 100 周年を記念した奨励基金により、有為な人材の育成に資することを目的に、本学に在学する学生のうち、学術、文化、体育等の活動を通じて卓越した成果を収めた者（団体を含む）を対象に授与するものです。

—学術・文化の分野—

FLPジャーナリズムプログラム松野良一ゼミ FLP(ファカルティリネージュ・プログラム)	
中央大学出身の戦争体験者への取材に基づく書籍『戦争を生きた先輩たち(全2巻)』(中央大学出版部)を発刊し、国内外の各新聞で大きく取り上げられた。 また、優れたドキュメンタリー作品を制作し、「筑紫哲也賞」「地方の時代賞」など、多数の賞を受賞した。	
谷田部 峻	法学部5年
一定の制約がある中で、優秀な学業成績を修めるとともに、中央大学法科大学院一般入学者選抜を中央大学大学院法務研究科特別給付奨学金(第一種)に採用される上位の成績で合格し、同大学院への進学を決定した。	
飯塚 宏香	文学部3年
全国書教研連盟の主催する第25回全国書写書道展覧会において、「中国大使館文化部賞」を受賞した。	
荒井 智行	大学院経済学研究科博士課程後期課程
米国シラキュース大学で開催された第37回 History of Economics Society Annual Conferenceにおいて、将来性があり、特に目立った研究を行った若手研究者に対して与えられる Young Scholars Award を受賞した。	
銭 潮潮	大学院理工学研究科博士課程前期課程
韓国インチョン大学において、アジア、ヨーロッパの13カ国の52名の大学院生や若手研究者を選抜して開催された10日間の短期研究プロジェクト「4th HydroAsia」に参加し、テーマ「Flood Damage Reduction Effect by Increasing Green Area in Incheon Metropolitan City」についての研究成果を発表し、その成果が認められ、HydroAsia Award The Excellence Awardを受賞した。	
福野 良	大学院理工学研究科博士課程前期課程
社団法人日本冷凍空調学会 2010年度日本冷凍空調学会・会長奨励賞を受賞した。 小規模の界面前進凍結濃縮システムを構築し、高冷却速度で運転した際の、凍結初期に形成される氷構造が分離効率に与える影響について検討し、凍結開始直後の冷却面温度変化が、凍結初期に形成される氷結晶状態を変化させることを観察により確認、また、その結晶状態がその後の分離効率に影響することを明らかにした。	
大竹 充	大学院理工学研究科博士課程後期課程
エピタキシャル hcp-Ni 薄膜(はくまく)の構造と磁気特性についての研究で平成22年度日本磁気学会学術奨励賞を受賞した。 上記の他、学術国際会議 ICAUMS では最優秀ポスター賞を受賞するなど、国際会議及び国内学会や有査読論文、その他論文などで総計115件の研究業績を挙げている。	

橋本 奈緒美	大学院理工学研究科博士課程後期課程
スイス・エンゲルベルクにて開かれた国際会議 ANGEL2010にて、「Impact of spacer length on laser-generated gold nanomarker design」という演目にてポスター発表を行い、100名を超える参加者の中から3件のみ受賞者が選ばれた ANGEL2010 Student Presentation Award のうち Silver Award を受賞した。	
大草 孝介	大学院理工学研究科博士課程後期課程
従来では困難であった複雑な人間行動の認識を、統計的手法によって高精度に認識する手法の研究開発に従事した。この手法についての発表が応用統計学会で評価され、優秀ポスター発表賞を受賞した。加えて、この研究成果が査読の後、オーストラリアで開催された国際会議で報告された。さらに、日本計算機統計学会誌にも採択され、2011年3月発行の学会誌に掲載予定である。	
森山 裕子	大学院理工学研究科博士課程前期課程
日本オペレーションズ・リサーチ学会「計算と最適化の新展開」研究部会において、優秀発表賞を受賞した。さらに、韓国及びドイツで開催された国際会議において本人が発表を行った。ドミノ牌を並べて絵を表現する問題に対し、最適化モデルを用いた美しい配置の高速計算法を提案している。	
日向 亜由美	大学院文学研究科博士課程前期課程
国内最高レベルのフランス語コンクールである、公益財団法人日仏会館主催 2010年度フランス語コンクールにおいて、3位(ケベック州政府賞)に入賞した。	

—体育の分野—

陸上競技部	学生会体育連盟
①第89回関東学生陸上競技対校選手権大会 男子4×100m 優勝(日本学生新記録・単独チームとして日本最高記録) ②天皇賜盃第79回日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ) 男子4×400m リレー優勝 (同種目で男女同一大学の優勝は大会史上初)	
水泳部	学生会体育連盟
第86回日本学生選手権水泳競技大会(インカレ) 男子400m リレー優勝	
自動車部	学生会体育連盟
全日本学生自動車連盟年間総合杯 男子団体の部優勝	
女子陸上競技部	学生会体育連盟
天皇賜盃第79回日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ) 女子4×400m リレー優勝 (同種目で男女同一大学の優勝は大会史上初)	
拳法部	学生会体育連盟
第55回全日本学生拳法選手権大会(インカレ) 団体優勝	
飯塚 翔太	法学部 1年(陸上競技部)
第13回世界ジュニア陸上競技選手権大会 男子200m 優勝(金メダル)(日本初・男子200m ジュニアシーズン世界記録)	
野沢 拓矢	経済学部 3年(水泳部)
第86回日本学生選手権水泳競技大会(インカレ) 男子200m バタフライ優勝	

瀬山 辰男	経済学部 4年(卓球部)
天皇杯・皇后杯平成22年度全日本卓球選手権大会 混合ダブルス優勝 上記の他、第77回全日本大学総合卓球選手権大会(インカレ) (個人の部)男子ダブルス優勝(2連覇)、平成22年度 関東学生卓球選手権大会優勝、春季リーグ戦優秀選手賞、 秋季リーグ戦敢闘賞等	
松生 直明	法学部 1年(卓球部)
第77回全日本大学総合卓球選手権大会(インカレ) (個人の部)男子ダブルス優勝 上記の他、平成22年度関東学生卓球新人選手権大会優勝、 平成22年度関東学生卓球選手権大会優勝	
宮山 亮	文学部 4年(フェンシング部)
第60回全日本学生フェンシング個人選手権大会(インカレ) 男子サーブル優勝 上記の他、第62回関東学生フェンシング選手権大会優勝	
石田 正樹	法学部 4年(自転車競技部)
第51回全日本学生選手権自転車競技大会 男子タンデムスプリント優勝(2連覇)	
巴 直也	商学部 4年(自転車競技部)
第51回全日本学生選手権自転車競技大会 男子タンデムスプリント優勝(2連覇)	
野口 大誠	経済学部 3年(自転車競技部)
第66回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(インカレ)男子 ケイリン優勝 上記の他、第50回東日本学生選手権自転車競技大会優勝、 第78回全日本アマチュア自転車競技選手権大会優勝	
濱田 翔平	法学部 3年(拳法部)
第26回全日本学生拳法個人選手権大会(インカレ) 優勝(2連覇)	

第18回 三重野康・高木友之助記念学術奨励賞

本賞は、三重野康元日本銀行総裁及び高木友之助元総長の篤志を尊重し、有為な人材の育成に資することを目的として、学部学生のうち、経済、金融、政策等の諸科学の分野で、卓越した成果を収めた者に授与するものです。

白石 秀壽	商学部 4年
卒業論文 「フランチャイズ・システムにおける意思決定権の集権化と分権化—環境不確実性と資産の契約可能性に着目して—」	

第16回 船木勝馬学術奨励賞

本賞は、船木勝馬氏の篤志を尊重し有為な人材の育成に資することを目的として、アジア諸国・地域からの留学生を対象とし、卒業論文、修士論文又は研究論文が、優秀と認められた者に授与するものです。

金 貞姫	大学院商学研究科博士課程後期課程
博士論文 「消費者の価格反応を中心とした購買行動に関する研究」	

第16回 水野富久司スポーツ奨励賞

本賞は、水野富久司氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として陸上競技部選手の育成に資することを目的として、陸上競技部に所属する学生のうち、長距離選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。

大石 港与	法学部 4年(陸上競技部)
第17回世界大学クロスカントリー選手権大会(日本代表) 個人第12位・団体優勝 第89回関東学生陸上競技対校選手権大会 ハーフマラソン第7位 第42回全日本大学駅伝対校選手権大会1区区間第6位 第87回東京箱根間往復大学駅伝競走5区区間第7位	
塩谷 潤一	理工学部 2年(陸上競技部)
第89回関東学生陸上競技対校選手権大会 ハーフマラソン第5位 第42回全日本大学駅伝対校選手権大会7区区間第5位 第87回東京箱根間往復大学駅伝競走10区区間第6位	

第14回 瀧野秀雄学術奨励賞

本賞は、瀧野秀雄氏の篤志を尊重し、少壮気鋭の研究者の研究活動を奨励することを目的として、本学准教授、助教若しくは専任講師又は大学院に在籍する学生であって、産業や技術開発の国際化にともなう知的財産権に関する研究論文が優秀と認められた者に授与するものです。

宇都木 修一	大学院理工学研究科博士課程前期課程
2008年9月「IEEEサイバネティクスと知的システム国際会議」にて発表した研究論文で、この論文に関連して複数の特許出願を果たした。「Shuichi Utsugi and Hisashi Suzuki, "Path Planning in an Unknown Environment on the basis of Observations of Occluded Areas,"(宇都木修一・鈴木寿：閉塞領域の観測に基づく未知環境における経路計画)」	

第14回 茨木龍雄学術奨励賞

本賞は、茨木龍雄氏の篤志を尊重し、土木工学の分野における有為な人材の育成に資することを目的として、理工学部土木工学科(都市環境学科)及び大学院理工学研究科土木工学専攻に在籍をする学生であって、土木工学に関する研究及び人物がともに優秀と認められた者に授与するものです。

鈴木 健太	大学院理工学研究科博士課程前期課程
土木工学に関する研究活動が優れ、多くの学会等にて論文を発表し成果を収めた。また、学業・研究に対する前向きかつ真摯な姿勢は他の学生の良い見本である。	
伊藤 文樹	大学院理工学研究科博士課程前期課程
土木工学に関する研究活動が優れ、多くの学会等にて論文を発表し成果を収めた。また、学業においては防災危機管理工学副専攻を大変優秀な成績で修了し、さらには専門資格の取得にも励んだ。	

第14回 久保田昭夫女子スポーツ奨励賞

本賞は、久保田昭夫氏の篤志を尊重し、スポーツ振興の支援体制の一環として女子選手の育成に資することを目的として、校友会体育連盟の部会に所属する女子学生であって、選手として優秀な成績を収めた者に授与するものです。また、久保田昭夫氏のご子息である紀昭氏は、毎年追加のご寄付をされ、本賞の発展に寄与されています。

田子 雅	法学部 4年(女子陸上競技部)
天皇賜盃第79回日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ)女子400m H優勝(2連覇) 女子4×400mリレー優勝 (同種目で男女同一大学の優勝は大会史上初) 2010日本学生陸上競技個人選手権大会 女子400m H優勝	
山田 めぐみ	文学部 4年(女子陸上競技部)
天皇賜盃第79回日本学生陸上競技対校選手権大会(インカレ)七種競技優勝 第89回関東学生陸上競技対校選手権大会 七種競技優勝	
坂本 夕佳	文学部 3年(女子卓球部)
天皇杯・皇后杯平成22年度全日本卓球選手権大会 混合ダブルス優勝	

第57回 学員体育会賞

本賞は、体育の業績において優秀な成績を挙げた本学の学生、団体に對し授与するものです。

—優秀団体賞—

自動車部	拳法部
------	-----

—努力団体賞—

ソフトテニス部	準硬式野球部
射撃部	バドミントン部

—努力団体種目賞—

女子陸上競技部

—リレー賞—

陸上競技部	男子400mリレー
畠山 純 川面 聡大 河合 元紀 飯塚 翔太	
陸上競技部	男子1600mリレー
鬼塚 祐志 木村 淳 近藤 敦嗣 山下 貴大	
女子陸上競技部	女子1600mリレー
利根川 由佳 矢野 美幸 清水 佳奈 田子 雅	
水泳部	男子400mリレー
塩浦 慎理 水野 雄介 前田 康輔 宮本 淳平	

—優秀選手賞—

レスリング部	中井 伸一(経4)
自動車部	田邊 大輝(法4)
スケート部	重野 駿佑(商3)
スケート部	水内 直人(法3)
スケート部	穂積 潤光(経2)

フェンシング部	宮山 亮(文4)
スキー部	及川 貴寛(法4)
スキー部	山元 駿(法4)
スキー部	志鷹 あかり(文2)
女子陸上競技部	田子 雅(法4)
女子陸上競技部	野村 友香里(文4)
卓球部	瀬山 辰男(経4)・坂本 夕佳(文3)
卓球部	瀬山 辰男(経4)・松生 直明(法1)
拳法部	浜田 翔平(法3)
自転車競技部	野口 大誠(経3)
硬式野球部	澤村 拓一(商4)
硬式野球部	井上 晴哉(商3)

—体育賞—

水泳部	野沢 拓矢(経3)
自動車部	赤池 翔太(理3)
女子陸上競技部	山田 めぐみ(文4)
拳法部	安武 光博(文4)
重量挙部	大澤 秀平(法1)
重量挙部	高倉 雄大(法3)

—努力賞—

ソフトテニス部	石川 裕基(法4)・後藤 諒太(文3)
ヨット部	樋口 美紗(理4)・久保 彩夏(理3)
女子卓球部	中島 慶子(文4)・坂本 夕佳(文3)
準硬式野球部	真中 恵介(総4)
準硬式野球部	古賀 達彦(商2)
準硬式野球部	帯金 徹(文4)
スキー部	小松 恭平(経4)
剣道部	松崎 亮介(経4)
自転車競技部	石田 正樹(法4)・巴 直也(商4)
重量挙部	安江 勇輝(文2)
重量挙部	三田村 和真(経4)
射撃部	清水 綾乃(商2)
射撃部	伴 朋美(文4)
射撃部	山下 理貴(文4)
バドミントン部	銭谷 翔(法4)
バドミントン部	松本 岳(法3)

—特別賞—

陸上競技部	飯塚翔太(法1)
サッカー部	六平光成(経2)
ラグビー部	羽野一志(法1)

—優秀監督賞—

自動車部	服部 和彦
拳法部	土屋 光武

—永年監督賞—

剣道部	北原 修
合気道部	副島 武
重量挙部	並木 良憲

アメリカンフットボール部	仁木 高樹
バドミントン部	浅見 初男

—学長賞—

硬式野球部	澤村 拓一(商4)	—優秀選手賞—
硬式野球部	井上 晴哉(商3)	—優秀選手賞—
レスリング部	中井 伸一(経4)	—優秀選手賞—
卓球部	瀬山 辰男(経4)	—優秀選手賞—
女子卓球部	坂本 夕佳(文3)	—優秀選手賞—
卓球部	瀬山 辰男(経4)・松生 直明(法1)	—優秀選手賞—
自動車部	田邊 大輝(法4)	—優秀選手賞—
スケート部	重野 駿佑(商3)	—優秀選手賞—
スケート部	水内 直人(法3)	—優秀選手賞—
スケート部	穂積 潤光(経2)	—優秀選手賞—
フェンシング部	宮山 亮(文4)	—優秀選手賞—
スキー部	及川 貴寛(法4)	—優秀選手賞—
スキー部	山元 駿(法4)	—優秀選手賞—
スキー部	志鷹 あかり(文2)	—優秀選手賞—
女子陸上競技部	田子 雅(法4)	—優秀選手賞—
女子陸上競技部	野村 友香里(文4)	—優秀選手賞—
自転車競技部	野口 大誠(経3)	—優秀選手賞—
拳法部	浜田 翔平(法3)	—優秀選手賞—
陸上競技部	飯塚 翔太(法1)	—特別賞—
世界ジュニア陸上競技選手権大会 金メダル		
陸上競技部リレーチーム	—リレー賞—	
畠山純(総2)・川面聡大(法3)・河合元紀(文3)・飯塚翔太(法1)		
関東インカレ男子4×100mリレー優勝(38秒54)……日本学生新記録・日本代表などを除く単独チームとしては日本最高記録、北京五輪(2008)・ベルリン世界陸上(2009)に当てはめると5位と6位の記録に相当		

第28回 学員会会長賞

本賞は、本学在学生のうち学術、文化、社会等の活動を通じて優秀な成果を収めた者に授与するものです。

FLPジャーナリズムプログラム松野良一ゼミ FLP(ファカルティリンクージ・プログラム)	
①中央大学出身の戦争体験者を取材し書籍『戦争を生きた先輩たち - 平和を生きる大学生が取材し、学んだこと』(中央大学出版部 初版 2010.8-2010.10 全2巻)を刊行した。 ②優れたドキュメンタリーを多数制作。『城南子ども放送局』では市民がつくるTVF2011「ビデオ大賞」「優秀作品賞」「筑紫哲也賞」(特別賞)を受賞し、地方の時代映画祭 2010 市民・学生・自治体部門において「優秀賞」を受賞した。 また、『顔面紙芝居〜芸の道、家族とともに〜』では地方の時代映画祭 2010 市民・学生・自治体部門において「奨励賞」を受賞するなど、6つの作品で8つの賞を受賞した。	
精密機械工学研究部	学友会理工連盟
(財)川崎市産業振興財団 第17回かわさきロボット競技大会 特別戦(特別戦出場)	

藤岡 徹	理工学部 2年
公益法人日本工業英語協会 平成22年度文部科学省後援工業英語能力検定試験 文部科学大臣賞を受賞	

柴 実可子	文学部 2年
全国書教研連盟 第25回全国書写書道展覧会 読売新聞社賞を受賞	
五十嵐 淑人	大学院理工学研究科博士課程前期課程
日本混相流学会 年会講演会 2010 学生優秀講演賞を受賞	
横島 真人	大学院理工学研究科博士課程前期課程
(社)日本フルードパワーシステム学会 平成22年春季講演会 学生の部 最優秀講演賞を受賞	
高橋 真人	大学院理工学研究科博士課程前期課程
(社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2009 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞を受賞	
関野 智啓	大学院理工学研究科博士課程前期課程
ISS スクエア 2009 年度 ISS スクエアシンポジウム 研究奨励賞を受賞 IEEE GLOBECOM2010 Early Bird Student Award を受賞	
藪原 穰	大学院理工学研究科博士課程前期課程
(社)日本磁気学会 第33回日本磁気学会学術講演会 2010 学生講演賞(桜井講演賞)を受賞	
清水 健太	大学院理工学研究科博士課程前期課程
新規光学活性配位子 ThioClickFerrophos を開発し、これの銀や銅錯体を触媒として用いて、アゾメチンイリドと α 、 β 不飽和ケトンやエステルとの不斉環化付加反応を行い、生成物であるプロリンエステルを高エナンチオ選択的に合成することに成功した。この反応は抗C型肝炎ウイルス剤の合成に応用できる。この研究論文が「Azomethine Ylide cycloadditions with ThioClickFerrophos Ligands」と題して、SYNFACTS(Thime 2010,6,0665-0665)に抄録された。	
匹田 慎平	大学院理工学研究科博士課程前期課程
Asian-Pacific Winter Conference on Plasma Spectrochemistry 2010 APWC Shimadzu Best Poster Award を受賞	
増野 真也	大学院理工学研究科博士課程前期課程
錯体化学会 第60回錯体化学討論会学生講演賞を受賞	
藤井 翔	大学院理工学研究科博士課程後期課程
(社)日本化学会 日本化学会第90春季年会(2010) 学生講演賞を受賞 Division of Colloid and Interface Chemistry, The Chemical Society of Japan NCSS2010 Best Poser Award を受賞	

—スポーツの分野(団体)—

自動車部	射撃部
拳法部	バドミントン部
ソフトテニス部	女子陸上競技部
陸上競技部(リレー)※	準硬式野球部
※畠山純(総2) 川面聡大(法3) 河合元紀(文3) 飯塚翔太(法1)	

—スポーツの分野(個人)—

飯塚 翔太	法学部 1年(陸上競技部)
田邊 大輝	法学部 4年(自動車部)

中井 伸一	経済学部4年(レスリング部)
坂本 夕佳	文学部 3年(女子卓球部)
瀬山 辰男 松生 直明	経済学部 4年(卓球部)ダブルス 法学部 1年(卓球部)ダブルス
重野 駿佑 水内 直人 穂積 潤光	商学部 3年(スケート部) 法学部 3年(スケート部) 経済学部 2年(スケート部)
澤村 拓一 井上 晴哉	商学部 4年(硬式野球部) 商学部 3年(硬式野球部)
宮山 亮	文学部 4年(フェンシング部)
田子 雅 野村 友香里	法学部 4年(女子陸上競技部) 文学部 4年(女子陸上競技部)
野口 大誠	経済学部 3年(自転車競技部)
浜田 翔平	法学部 3年(拳法部)
及川 貴寛 山元 駿 志鷹 あかり	法学部 4年(スキー部) 法学部 4年(スキー部) 文学部 2年(スキー部)

— スポーツの分野 (OB) —

澁谷 悟(平成16年卒)日本通運勤務	相撲部OB
吉田 圭伸(平成21年卒)自衛隊勤務	スキー部OB

第25回 南甲倶楽部賞

本賞は、学員会南甲倶楽部が、毎年卒業する学生のうち、学力優秀にして学問研究、文化活動、体育活動及び社会活動などの分野において顕著な成果を挙げ、本学の名声を高めるとともに本学の発展に寄与した者を対象に授与するものです。(南甲倶楽部は実業界で活躍するOBが組織する団体)

有岡 未央	法学部4年
法学部卒業生の中で、在学中の学業成績が優秀であり、かつ所属ゼミでの活躍も顕著で、指導教員及びゼミ生からの信頼も厚い。	
松田 孝士	経済学部(3年時早期卒業生)
在学中に優秀な成績を残し、東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻専門職学位課程(法科大学院)に合格した。また経済学部4学科の卒業生の中でも最優秀の学業成績であり、学部学生の模範となるに相応しい。	
翠 雅俊	商学部 4年
本年度商学部卒業生の中で、学業成績が優秀であり、ゼミ(会計系)にも熱心に取り組んできた。また、難関とされる公認会計士試験に在学中に合格し、人物良好である。	
澤田 枝実子	理工学部 4年
4年間を通じて熱心に学業・研究活動に取り組み、学科内で最優秀の成績を収めた。また、大学生活や就職活動の経験を下級生に紹介する活動にも積極的に参加し、女子学生キャリア育成を目指す本学のW I S Eプロジェクトにも貢献した。就職後の企業においても活躍が期待できる人物といえる。	

顔原 邦子	文学部 4年
国文学専攻在学の4年間、意欲的かつ楽しんで学業に取り組み、非常に優秀な成績を修めた。所属する中世文学ゼミでも、ゼミの人間関係構築に尽力し、議論をつねにリードする存在として、他学生の模範となっていた。卒業論文は、鎌倉時代初期の説話集『今物語』の一話について、その内容を深く掘り下げ考察するだけでなく、文化史的な様相から多角的に検討を加えた力作であった。卒業後も、大学で培った教養、物事をさまざまに分析する力、真摯に取り組む姿勢を生かし、社会で活躍してくれると期待する。	
鍋木 あゆみ	総合政策学部 4年
「日本在住外国人住民に対する言語権保障」をテーマに、全国の自治体の多言語情報サービス実態調査結果をもとに、素晴らしい卒業論文を仕上げた。また出身地の発展のために働きたいという熱い思いを胸に、県職員採用試験にも見事合格し、卒業後は、学部で学んだ多くのことを生かし、努力を惜しまない卓越した頑張りをもって、その使命を果たしてほしいと期待している。他の学生の模範となり、また将来が囑望される人材であると思われる。	

第13回 法曹会賞

本賞は、中央大学法曹会が、毎年卒業する学生のうち、学業成績優秀または文化活動に顕著な功績を挙げた卒業生に対して授与するものです。

荒井 悦久	法学部 4年
在学3年次で平成21年度司法試験合格	
今村 龍矢	法学部 4年
在学4年次で平成22年度司法試験合格	
長嶺 悠介	法学部 4年
在学4年次で平成22年度司法試験合格	
和氣 礎	法学部 4年
在学3年次で平成21年度司法試験合格	

第6回 東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞

本賞は、東京白門ライオンズクラブが、有為な人材の育成に資することを目的として、博士課程前期課程・修士課程に在学する外国人留学生のうち、優秀な成績をもって課程を修了し、かつわが国と出身国を結ぶ架け橋として活躍が囑望される者に授与するものです。

韓 正洲	大学院総合政策研究科博士課程前期課程
優れた修士論文「中国市場における総合スーパーマーケットの競争戦略—ウォルマートとイトーヨーカ堂の比較分析を中心として—」をまとめ上げた学業上の努力と能力を高く評価し、将来、日中の架け橋となる意欲が十分発揮されている。	